

国営土地改良事業地区調査 『新津郷阿賀野川左岸地区』 地区概要

1. 地区の概要

阿賀野川の左岸に広がる本地区は、国営かんがい排水事業「阿賀野川用水地区」（昭和36～58年度）及び「新津郷地区」（昭和47～平成元年度）によって造成された頭首工及び幹線水路等の基幹水利施設によって水稻を中心とした農業が営まれています。



車場揚水機場

2. 地区の課題

本地区は、近年の営農形態の変化に伴う用水不足や長大な水路延長による用水到達時間遅れなどで番水が常態化するとともに、揚水機場と加圧揚水機場の併用により管理費が増嵩しています。

また、都市排水を担っている新津郷地区の排水機場では、都市化の進展に伴う排水負担の増大が課題となっています。

さらに、基幹水利施設については、揚排水機場のポンプの腐食など経年的な施設の老朽化により農業用水の安定供給に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な費用を要しています。

用水の不足



排水路からの反復利用

施設の老朽化



目地部分のコンクリート剥離
(左岸低位幹線用水路)

大秋排水機場・覚路津排水機場の整備補修費の推移



トンネル目地部からの漏水
(左岸低位西幹線用水路)

